

14. 大山阿夫利神社 (神奈川県中部)

相模平野の何処からでも見える大山は、別名雨降山とも呼ばれています。登山・ハイキング・観光や大山参りでも有名ですが、探鳥を楽しむ場所としても適しています。

ここでは大山バス終点から阿夫利神社・見晴らし台までのコースを紹介します。小田急伊勢原駅北口のバス乗り場から大山ケブル行きに乗り(約 30 分)終点で降ります。

そこから正面の石段の道(参道)を避けて左側の車道を大山川沿いに行きます。このあたりではハクセキレイ・キセキレイ・キジバト・ヒヨドリ等が見られます。車道の行き止まりになる少し手前で右折し、一旦参道に出て大山川を渡る橋に来たら、右側の元滝や下流を注意、以前この場所でカワガラスが採餌していた事があります。(右前方は大山ケブルカ-の追分駅で、ケブルカ-を利用すると下社まで6分行ける)さらに登って行くと八意思兼神社(追分神社)があります。

左側へゆるく石段の断続する女坂。昼なお暗い自然林のなかを弘法大師の爪彫り地蔵をはじめ、これから向かう大山不動にまつわる数々の石仏や句碑が点在するので、人が多くて鳥に会えなくても退屈しなくてすみます。大山寺でトイレ休憩、このあたりでは春ならばミソサザイ・ヤブサメ・オオルリなどの囀りが聞こえます。ヒガラ・コルリ(最近はまれ)の声も聴けます。さらに登って行くと男坂に合流します。

いっぼう右に見える急勾配の石段を登る男坂を登るもよし、大山の山頂を目指す人には最適

です。

合流してからさらに登ると阿夫利神社下社に着きます。ここでトイレ休憩をし、茶店で美味しいものを食べるのもよし、神社を参拝するのもよし、振り返って展望を楽しむのも良いでしょう。夏はカッコウやホトトギス・クロツグミの声を楽しむ事が出来ます。

茶店の左横の石段を下り見晴台を目指します。高低差 90m の登り下りの道です。樹間をコゲラ・アオゲラが移動し、カラの混群にも会えます。また草むらからはホオジロ・ヤブサメの声、冬はアカゲラやウソにも会えます。途中、二重滝付近の水場では、シジュウカラ達の水浴びを目にすることもでき、ミソサザイの囀りを聞くのもこのあたりです。見晴台は、別名雷ノ峰とも呼ばれ夏は雷が発生しやすい地点なので注意が必要です。夏は、遠くからジュウイチ・ツツドリ・アオバトの声が聞こえて来ます。またベンチで昼食を取りながら北側の傾斜面を注意して見ているとシカの親子が見られる事もあります。



大山阿夫利神社 (下社)

コースタイム 4~5時間
地形図: 1:25,000 大山 案内図: 丹沢 (昭文社)

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

14.大山阿夫利神社（神奈川県中部）

それぞれの標高は、大山バス停 320m、大山不動尊 500m、下社 680m、見晴台 770m と高低差もかなりあり、靴はせめて軽登山靴で水筒と弁当は必要、夏は暑さ、冬は防寒の対策、雨への準備も必要です。

帰りは、来たコ - スを逆に戻っても良いし、尾根筋を石地蔵まで下りそこから九十九曲がりを一気に下り日向薬師に向かって良いでしょう。このコ - スは、針葉樹が多くカケスの声が、夏だとトラツグミの声にも期待できます。

この他に大山バス停より手前の大山小学校前で下車して、新玉橋を渡り、さらに直進して土産物屋の前を通り阿夫利林道を経由して大山不動尊に行くコ - スもあります。

コ - スの全長は約 6km、高低差 480m、11 月 - 3 月頃までの小春日和に歩くと、マヒワやアトリの群やウソ・ルリビタキに出会うことができます。（上野宗弘）



観察できた鳥

ゴイサギ・コサギ・アオサギ・トビ・ノスリ・オオタカ・ハイタカ・ツミ・チョウゲンボウ・コジュケイ・キジ・キジバト・アオバト・カッコウ・ツツドリ・ホトトギス・ジュウイチ・ヒメアマツバメ・アマツバメ・カワセミ・アオグラ・アカグラ・コグラ・イワツバメ・ツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・ピンズイ・サンショウクイ・ヒヨドリ・モズ・カワガラス・コルリ・ジョウビタキ・ルリビタキ・マミジロ・トラツグミ・アカハラ・クロツグミ・シロハラ・ツグミ・ウグイス・ヤブサメ・キクイタダキ・センダイムシクイ・キビタキ・オオルリ・サンコウチョウ・コガラ・ヒガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・マヒワ・アトリ・ウソ・イカル・シメ・スズメ・ムクドリ・カケス・オナガ・ハシブトガラス・ハシブトガラス

あし

・小田急線伊勢原下車 神奈川中央交通バス 大山ケーブル駅行き終点下車
 ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照